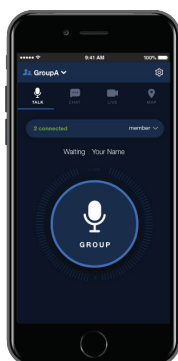
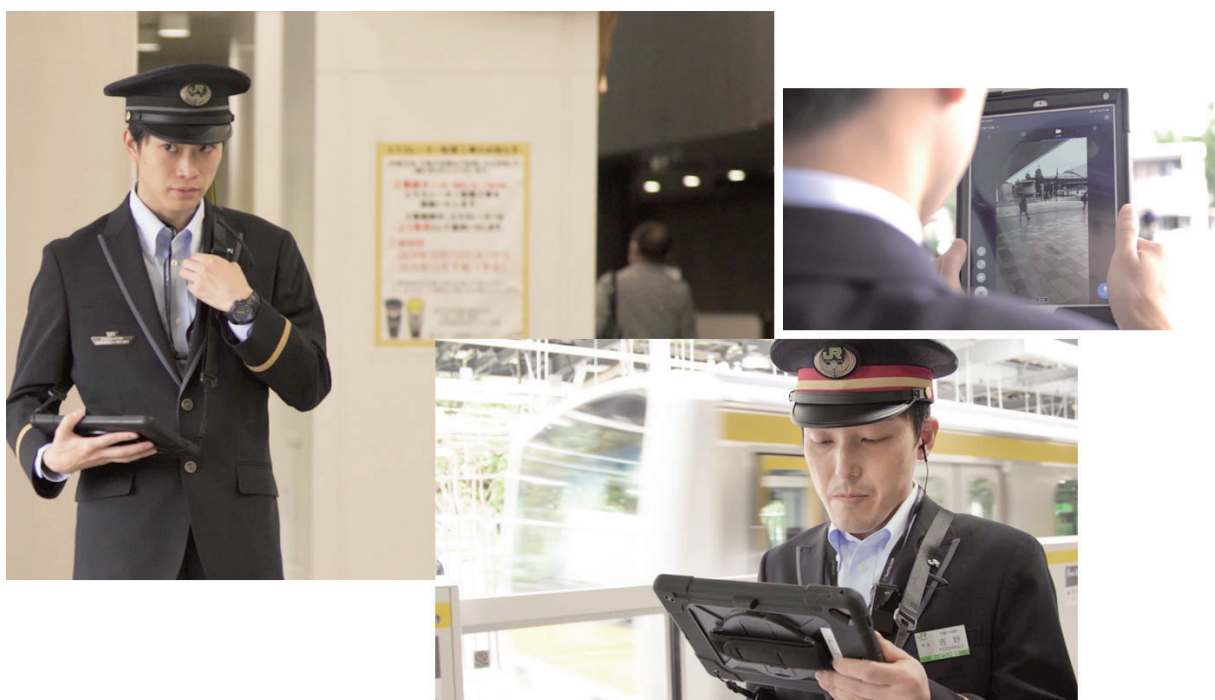


Buddycomを導入して良かったこと

“ タブレット端末をフル活用 駅構内での持ち運びをスマートに

鉄道

駅・ホーム



駅内でお客さまのご案内業務を行うサービスマネージャーは、タブレット端末、IP無線機、PHSの3種類の機器を一緒に持ち歩く必要がありましたが、Buddycomを導入することでタブレット端末1台に統一することができました。

また、多くのお客さまが利用される年末年始、ゴールデンウィーク、お盆などの最繁忙期では応援者も含めた駅全体の情報共有ツールとして活用できるようになりました。通信費用のランニングコストが下がるのも魅力です。



導入前の課題

導入しているIP無線機の台数が限られていたこともあり、今まで駅によってはイベント対応時に他箇所からIP無線機を借りて使用していましたが、それでも不足するケースがありました。これから先の大規模イベントに備え、多数の応援者が駆けつけることから、全ての係員が必要な情報を必要なタイミングで共有できる連絡手段構築の必要性を感じていました。

導入した理由

タブレット端末が駅社員に支給されていることから、タブレット端末を用いたアプリでの連絡ツールを模索していたところ、Buddycomにたどり着きました。Buddycomはグループに参加できる人数が無制限でエンタープライズ向けの機能が多くあるため、全ての係員が情報共有できる連絡ツールとして最適でした。

新宿・千駄ヶ谷・上野で利用中

広くて階層は多い駅構内でも隣にいるような会話。

大規模発信にも使えるし、設定次第で限られたメンバー間や個別通話も可能になります。オプションで、マイク・スピーカー・イヤホンを使うこともでき、それらがBluetooth接続であることから、タブレット端末の取り回しに気を遣わずに済みます。



国立競技場や東京体育館でイベントが開催される際などの情報共有で利用。

個人に貸与されているタブレット端末でBuddycomを利用することにより、ホームや改札など全ての係員が同時に情報共有できるようになりました。

また、お客さまの流れがどれくらいか改札付近でライブキャスト機能（映像のリアルタイム配信）を利用することで全ての係員が現場の状況を把握でき、お客さまのご案内に役立っています。



導入検討中の方へメッセージ

今後、QRコードでアカウントを追加するなど、応援に駆けつけた社員が指定されたグループに接続されるようになれば汎用性が広がると考えています。



オススメできる点

音声だけでなく動画も共有できるBuddycomを活用することで社員の業務効率が上がり、パフォーマンスの向上が期待できます。



株式会社サイエンスアーツ

WEB: www.science-arts.com
Service: www.buddycom.net
お問い合わせ: info@science-arts.com

